

第 1 回 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第 1 回 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和 7 年 4 月 21 日（月）午前 10 時 00 分～12 時 10 分
場 所	天沼中学校 視聴覚室
出 席 者	懇談会委員 21 名（欠席 1 名）
傍 聴 者	2 名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育委員会事務局学校整備・支援担当部長挨拶 3 出席者・事務局紹介 4 進行役選任 5 天沼中学校の特色について 6 天沼中学校改築の概要について 7 さざんかステップアップ教室について 8 事務局からの連絡事項
資 料	<p>資料 1 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会委員名簿</p> <p>資料 2 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会運営要綱</p> <p>資料 3 令和 7 年度学校要覧 天沼中学校校舎改築に関する学校意見書（当日配布）</p> <p>資料 4 天沼中学校の改築について</p> <p>資料 5 さざんかステップアップ教室について（当日配布）</p> <p>参考資料 1 杉並区立学校施設整備計画（第 2 次改築計画）</p> <p>参考資料 2 杉並区立学校施設整備計画（第 2 次改築計画）（概要版）</p> <p>参考資料 3 杉並区立神明中学校改築基本設計まとめ</p> <p>参考資料 4 杉並区教育ビジョン 2022（概要版）</p> <p>参考資料 5 神明中学校校舎改築ニュース（創刊号）</p> <p>参考資料 6 メビウスだより（令和 6 年度第 2 号）</p>

教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、まだおいでになってない委員の方もいらっしゃいますけれども、定刻を過ぎましたので始めさせていただきたいと思います。</p> <p>本日はお忙しい中、天沼中学校改築検討懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。また、懇談会委員を快くお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、杉並区立天沼中学</p>
------------------	---

	<p>校舎改築検討懇談会を開催いたします。</p> <p>私は教育委員会事務局学校整備課教育施設計画推進担当係長です。どうぞよろしくお願いいたします。今回の進行役を選任させていただくまで会の進行を務めさせていただきたいと存じます。</p> <p>本日の懇談会は2時間程度とさせていただきます。進行につきましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、学校整備・支援担当部長からご挨拶申し上げます。</p>
<p>学校整備・支援担当部長</p>	<p>おはようございます。ただいまご紹介いただきました、今回の改築を担当しております学校整備・支援担当部長です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は第1回杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>天沼中学校は昭和22年に開校し、現校舎も昭和35年に建てられ、もう60年以上が経っています。同様に、区内の学校の半数以上が築50年を過ぎており、我々の改築担当は毎年そういった学校の改築業務に当たっているというような状況です。</p> <p>いざ改築を進めるとなると、地域のご理解、また学校に対する皆さまの思いをしっかり受け止めなければならず、時間もかかりますし、真摯にいろいろなことに向き合っていかなければならないというのを、私も担当になって常に感じているところです。</p> <p>ぜひ本日の会議では、天沼中学校についてのご理解を進めながら、さらに、さざんかステップアップ教室の併設などいろいろな課題についても皆さまからの忌憚のないご意見を頂ければと思っております。短い2時間という限られた時間ではございますけれども、皆さまからの忌憚のないご意見頂ければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>それでは、事前送付いたしました資料及び本日席上にお配りしております資料の確認をさせていただきますと思います。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>資料の不足等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、懇談会を始めるに当たりまして、事務局からお願いがございます。</p> <p>会議は原則公開となります。また、会議資料や会議録も原則公開となり、教育委員会のホームページに後日掲載いたします。会議の記録のた</p>

	<p>め、録音・撮影をさせていただくことをご了承ください。</p> <p>また、皆様に1点お諮りしたいことがございます。会議録につきましては、発言者の氏名は伏せた形で「委員」や「進行役」というような表記でよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>また、懇談会を傍聴したいとご希望される方がいらっしゃった場合ですけれども、基本的には認めることとなっております。あらかじめご了承ください。なお、傍聴者の方につきましては発言ができませんので、この点ご了承くださいと思います。</p> <p>本日お配りした資料ですけれども、第2回目以降も使用する資料もでございます。大変お手数ですけれども、次回以降の懇談会にご持参いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の3番目「出席者・事務局紹介」に移りたいと思います。本懇談会の委員名簿は資料1でございます。</p> <p>本日の出席状況です。欠席のご連絡を頂いておりませんが、現在、1名の方がまだお見えになっていらっしゃいません。</p> <p>本日は第1回目ということなので、顔合わせという意味で、お一人ずつ簡単な自己紹介をお願いしたいと思っております。</p>
	<p>（委員自己紹介）</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、続いて事務局職員及び関係課職員でございますけれども、お手元にあります名簿、席次表をもって紹介に代えさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の4番「進行役選任」に移らせていただきたいと思います。</p> <p>本懇談会は学校関係者、町会・自治会、学識経験者と、様々な方面から委員としてお集まりいただいております。</p> <p>議事の円滑な進行を担う役割としまして、どなたかに懇談会の進行役をお願いしたいと思っておりますが、これまで他校の改築検討懇談会では校長先生をお願いをしておりました。今回も天沼中学校の校長先生に進行役を担っていただきたいと思いますと思っておりますが、いかがでございましょうか。</p> <p style="text-align: center;">（拍手）</p> <p>ありがとうございます。</p>

	<p>それでは、この後、校長先生に進行役をお願いしたいと思います。校長先生、よろしく願いいたします。</p>
進行役	<p>それでは、ご承認ありがとうございました。すみません。座ったままで進行させていただきます。次第に沿って進行させていただきたいと思っております。進行上、質問などにつきましては適宜時間を取らせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第番号5番「天沼中学校の特色について」ということで、私のほうからかいつまんで説明させていただきます。資料3番をご用意ください。今年度の「学校要覧」となっております。</p> <p>表紙のところに教育目標があります。平成14年度に第17代校長でした嶋崎政男先生の時代に、この教育目標「自主 自律 共生」という教育目標が定められました。このときが、恐らくちょうど総合的な学習の時間とかが学習指導要領に入った平成10年改訂の後だったと、私が調べた中では出てきております。そんな中でずっと今これを掲げて、教育活動に邁進してまいっています。</p> <p>今年度は「自律」という部分を1つの核にして、自分の中のルールをしっかりとって判断ができるというところを大事にしていかないと、周りを大切にしていって「共生」という価値や、自分で決める「自主」という価値は生まれないだろうということで、今年度は特に「自律」というところをこれから重要な価値として考えていきたいと思っております。</p> <p>それでは2枚目のところ、1枚目の裏に「学校概要」とあります。</p> <p>本校の生徒総数は279名、3クラスずつの学級となっております。周辺の学校としては、例えば中瀬中学校、井荻中学校等と比べると少し少ないですけれども、東原中学校等々とは同様な感じの学校規模となっております。</p> <p>職員一覧はそちらに書いてあるとおりです。</p> <p>裏面を見ていただければと思います。「特色ある教育活動」というところを御覧ください。</p> <p>「地域と連携した教育活動の推進」ということで、昔から、特にここにいらっしゃる委員とかが関わっていただいた活動としていろいろあると思うのですけれども、伝統文化体験だとか「言霊百選」、英語の「KOTODAMA100」「ことだま朗読発表会」だとか、あと委員にもご協力いただいている「防災学習」等々ということで、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きして、地域の方との協力の中で様々な体験活動を実施してきているという特色があります。</p>

	<p>また「ICT機器の活用と主体的・対話的で深い学びの実現」ということで、ICT機器の活用につきましては、教員も年代がいろいろですので得意、不得意があるのですけれども、本校の教員は本当によく活用しているのかなと思っています。</p> <p>一人一台タブレットを授業でどう使っていくかというところについては、あくまでもそれはツールの部分なので、授業の内容によっても変わってくる部分はあると思うのですが、昨年度入れていただいた電子黒板等々の活用については、ほぼ毎時間のように使われているという状況で、非常に工夫してやってきています。</p> <p>続いて「個別支援の充実」ということで、本校は学習支援教員や、区のほうでもスクールカウンセラーを配置していただきまして、2名体制でやっています。あと校内別室ボランティアだとか通常学級支援員などが入って、個に応じた対応が必要な生徒に対して学びやすくやってきています。また個別支援委員会等々も充実させながら、それぞれ個別のニーズに合わせた指導を充実させてきています。</p> <p>4点目は「道徳教育の推進」ということで、道徳教育というのは全ての教育活動で行われる、心を育んでいく教育活動です。これにつきましては、本校の教育目標「自主 自律 共生」というところは道徳教育の価値にも通じる内容です。ですので、特に道徳的実践の場である特別活動の充実や総合的な学習の時間での充実というところを掲げて、心豊かな生徒が育まれていくように教育活動を工夫してやってきているというところが本校の特色となりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、それぞれ委員の皆さん方から、恐らく天沼中学校はこういう学校だということがあると思うのですけれども、私からの説明としては以上とさせていただきます。</p> <p>続いて、次第の6番「天沼中学校改築の概要について」、事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>担当係長からご説明させていただきます。資料4を御覧ください。「天沼中学校の改築について」というA4横のつづりになっております。</p> <p>昭1番「改築に至る経緯」ですけれども、天沼中学校は和22年に開校しまして、現在地に移ったのは昭和23年でございます。そして昭和35年に現校舎、管理教室棟の一番古い棟ができました。築65年になります。体育館が昭和37年にできまして、築63年になります。今皆さんがいらっしゃるこの特別教室棟が昭和49年建設で、築51年になっております。</p>

改築計画でございますけれども、令和3年度に杉並区実行計画で改築事業が計画化され、令和6年度の計画一部修正でさざんかステップアップ教室「天沼教室」「荻窪教室」の併設を計画化いたしました。

そして令和7年度、基本設計を実施しまして、令和8年度からは実施設計に移っていくという流れで進めていく予定であります。

次に「天沼中学校の概要」になります。

今年度の生徒数は280名。これは学務課に来ている速報値で今記載しており、9学級、各学年3学級となっております。

令和8年度以降の推計値を表にしております。今後、微増を想定しております。学級数につきましては最大10学級と見込んでおまして、今後35人学級、1学級の定員を35人とする学級が始まったとしても、学級数は10学級となる見込みと計算をしております。

現在の施設規模ですけれども、表の下のほうに記載されているとおりでございます。運動場の面積にはテニスコートも含まれております。

次に、3番『杉並区学校施設整備計画』（第2次改築計画）について」ご説明します。

まず、杉並区の学校施設の状況でございますけれども、現在、区立学校のうち5割以上が築50年を経過しており、老朽化による更新時期を迎えております。

生徒数の推移でございますけれども、生徒数は昭和58年度をピークに、平成22年度まで減少しておりました。その後、生徒数は微増傾向に移りまして、令和12年度までは微増が見込まれております。全体の人口推計でいきますと、年少人口は令和7年度、総人口は令和15年度をピークに減少していくことが見込まれております。

3番目の学校施設の改築経費でございますけれども、こちら学校には限りませんけれども、工事費が年々増加傾向にあります。そのため、学校施設の一定のスリム化と経費縮減の取組が求められております。

次に「学校施設の目指すべき姿」についてです。こちらは参考資料1「杉並区立学校施設整備計画」の14ページから16ページに詳細を記載してございます。クリーム色の冊子の14ページからです。

ざっとお話しさせていただきますと、「杉並区教育ビジョン2022」や「杉並区立施設再編整備計画」で学校施設の整備に関連して掲げている方針に従って、①将来を見据えた教育環境の確保のため5つの目標を設定しています。

1つ目が「安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備」。

学校は児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であるため、安全・安心な施設環境でなければなりません。また、子どもたちだけでなく、教職員や施設利用者の方にも配慮した空間整備に取り組んでいきます。

2つ目が「多様な教育に対応できる学習環境の整備」。

教育内容、教育方法等の変化に対応し、少人数指導やティーム・ティーチング等の多様な学習内容、学習形態への対応が可能となるフレキシブル性の高いスペースの確保とともに、特別支援教育の推進を行います。

またICT教育環境、校内情報ネットワーク、ラーニングセンター機能の充実など、「調べる、学ぶ、発表する」といった一連の学習を効果的に行うことができる教育環境の充実を図ります。

3つ目が「地域の拠点となる開かれた学校づくり」。

地域住民の生涯学習の場やスポーツ活動の場として機能するような学校開放諸室や、将来の学級数の変化に対応し、転用可能な多目的室などを配置するとともに、学校教育以外の施設整備についても十分考慮し、他施設との複合化・多機能化にも取り組み、地域コミュニティの核となる開かれた施設づくりを目指します。

また、発災時に避難生活の拠りどころとなる震災救援所として十分な機能を持った施設とするなど、多機能化を図ってまいります。

さらに、障害を持つ方や高齢者の方の利活用もあることから、幅広い地域住民の利用を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮した施設を目指していきます。

4番目「将来転用可能な柔軟性のある施設づくり」。

将来を見据えた望ましい教育環境が維持できる施設とする必要がありますけれども、当面、児童・生徒数は微増するものの、将来的には減少に転じることが想定されます。このことから教育の質を確保するとともに、一部の諸室については社会情勢や施設需要の変化に応じた用途変更・集約化などにも対応し、施設の管理区分や用途転用が可能な柔軟性のある施設づくりを進めます。

5番目です。「環境に優しい施設づくり」。

学校が児童・生徒だけでなく、地域にとっての環境・エネルギー教育の一助となるとともに、地域における地球温暖化対策の推進・啓発となるよう、環境に配慮した学校施設を目指します。

「学校施設の標準規模」でございますけれども、近年改築した学校施

設は建物（延床）面積が大きくなっています。施設規模が大きくなれば、建設費や維持管理費も比例して増加していきます。こうした状況を踏まえると、これまでの改築規模を見直した一定のスリム化の取組とともに、将来的には生徒数の推移などを踏まえた学校施設の適正配置など、総量抑制的な視点も含めて経費縮減への取組を進めることが求められます。

一方で、地域の生涯学習や防災の拠点、まちづくりの核として施設整備等を進めるには、適切な施設規模の確保も重要となります。面積増加の要因である多目的スペースや少人数教室については、その弾力的な施設環境の確保に必要な設備であり、今後の学校施設にも不可欠な諸室となり得ます。

これらのことから、標準建物面積について既存校の状況、国の指針との比較を踏まえ検討を行った結果、中学校の学級規模を12学級とした場合、特別支援学級を除き7,500平米とすることといたしました。

こちらは参考資料1、クリーム色の冊子の19ページ、20ページに記載があります。20ページの中段ぐらいに、中学校12学級の場合に7,500平米という記載がございます。これが例えば9学級になった場合には、3クラス分の面積を減じた約7,300平米が標準面積となります。また大規模校で15学級というような学校については、3クラス分がプラスになって、約7,800平米が標準面積となります。

少し戻って19ページの表を見ていただきますと、必要な諸室、あと各部屋の面積が定められております。これが一覧になっております。

「改築検討における主な視点」として、幾つか挙げさせていただきました。

将来の生徒数の変化（ピーク想定）を見込んだ施設づくり。

さらなる防災機能の充実や地域に開かれた学校づくり。

杉並区では、学校施設の老朽化に伴い、令和7年度、今年度から年間2校ずつのペースで改築が予定されており、コスト面を含む総合的な視点に立った施設づくり。

これまで築後おおむね60年を改築時期としておりましたけれども、今後は築80年を目指した長寿命化の考え方に基づく改築。

天沼中学校は、第一種低層住居専用地域で、近隣住宅と隣接しているため、近隣住宅にも配慮した改築計画が必要になります。

さざんかステップアップ教室の併設を踏まえた検討も必要になってきます。

	<p>この懇談会で学校関係者、保護者、地域住民の皆様の意見を踏まえて検討を進めてまいりたいと思っております。</p> <p>私からの説明は一旦ここまでで、中断させてもらいたいと思います。またこの後、懇談会の開催予定等については、後ほど改めて説明をさせていただきますしたいと思います。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて次第の7「さざんかステップアップ教室について」、担当の方からご説明のほどよろしくお願いいたします。</p>
教育相談担当 課長	<p>改めまして、済美教育センター教育相談担当課長です。本日はどうぞよろしくお願いいたします。この先着座にて失礼いたします。</p> <p>皆様、机上に配付させていただきました、右上に資料5と書いてある「さざんかステップアップ教室について」という資料をご準備ください。</p> <p>さざんかステップアップ教室というのはそこに書いてある事業内容のとおりですが、不登校の児童・生徒に対して学習や体験的な活動、あと小集団活動を通して自ら学ぶ力や社会性を育てていきたいということを目的にしております。また、そういった将来への社会的自立等につながるような支援も併せて行っております。</p> <p>現在4教室ございまして、そちらの表にあるとおり、宮前、天沼、和田、荻窪。対象者は小学生だったり中学生だったりするのですが、それぞれの教室ごとの特色を生かしながら運営をしているところでございます。</p> <p>1枚めくっていただきまして、さざんかステップアップ教室「荻窪教室」の概要①についてです。</p> <p>施設の情報はそちらに書いてあるとおりです。延床面積は非常に大きいですが、実際に子どもたち、利用者が使える教室はそこに書いてあるとおりです。教室が1部屋、あとは相談室、職員室、トイレ、倉庫等という形になっております。</p> <p>登録児童数につきましては1ページの表のとおりですが、1日当たりの通所者数は平均7名程度になっております。</p> <p>参考までに、白黒で恐縮ですけれども、教室と相談室の写真を載せさせていただきます。</p> <p>続きまして、さざんかステップアップ教室「荻窪教室」の概要②ということで、平面図を載せてございます。</p> <p>また、下の表は登録者数を各年度末で算出している数値でございます。</p>

	<p>す。数字は4年度から5年度若干減っておりますが、不登校児童・生徒の数が増えているということで、登録者数も増えてございます。</p> <p>続きまして、天沼教室の概要に移りたいと思います。さざんかステップアップ教室「天沼教室」の概要①です。</p> <p>こちら皆様ご存じのとおり、今、天沼中学校の施設内にある天沼教室ですが、1日当たりの通所者数は平均12名程度でございます。ここにも相談室ですとか活動している教室、あとは個別対応スペースということで、空きスペースを学校からお借りしまして、パーティションで区切りながら個々で作業したり、またちょっと落ち着かないときに利用できるようなスペースを設けてございます。</p> <p>続きまして、さざんかステップアップ教室「天沼教室」の概要②。こちらは鮮明な図でなくて申し訳ないですが平面図、そして登録者数を記載してございます。こちら先ほどの荻窪教室と同じように、登録者数は年々増加しております。</p> <p>6ページ目、最後ですが、さざんかステップアップ教室（荻窪教室・天沼教室）の併設についてということで、併設の経緯はそちらにあるとおりでございます。</p> <p>併設する効果としては、既存の教室から地理的に近く、安心して通えるのではないかと。また異学年、異講師が交流することで、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むことができるのではないかと。また小学校・中学校のつながりによる、現在行われているだけではなく、体験活動等のより一層の充実が図れるのではないかと。いったことから、今回併設ということにさせていただいているところで</p> <p>必要諸室につきましては、そちらに記載のとおりです。</p> <p>私からは以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の5番「天沼中学校の特色について」、6番「天沼中学校改築の概要について」、7番「さざんかステップアップ教室について」のそれぞれの説明がありました。何かこれまでのところについて質問等ございましたら、挙手にてご発言をお願いしたいのですけれども、いかがでしょうか。</p> <p>お願いします。</p>
委員	<p>荻窪教室が天中に併設されるというのはもう決まったことなのか。</p>

委員	<p>荻窪教室の併設は確定かということでご質問がありましたが、いかがでしょうか。</p>
教育相談担当 課長	<p>現段階で、併設の方向で進めさせていただきたいと考えております。</p>
委員	<p>さざんか教室に携わってきた者として、不登校児童・生徒の実態から言って、まず小学生と中学生の教室が併設されることがいいのかということと、小学生の荻窪教室を中学校に併設するわけですね。そうすると、子どもにとってかなり壁が大きいという気がいたします。併設そのものについてご検討の余地があればというか、検討していただきたいと思っております。</p>
進行役	<p>これについてはいかがでしょうか。特に、ご要望ということでお伺いする形よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>ぜひご検討いただきたいと思います。</p>
進行役	<p>お願いいたします。</p>
委員	<p>今、委員2名から大切な問題提起を頂いたと僕も思っていて、多分そういうさざんかステップアップという機能、機能という言い方も若干失礼な気もするのですが、学校はいろいろな子どもたちがいて、そういう子どもたちを含めて地域として、あるいは学校という施設できちんとフォローアップしていくという、そんな思いが根底にあるのかなと思うのです。</p> <p>そのときに「杉並区立学校施設整備計画」というこの計画、指針みたいなものが、きっとさざんかステップアップの併設とか、あるいはそうではないという議論を語ってくれる計画なのではないかと思っていて。</p> <p>ざっと眺めた限り、今は見つからなかったのですが、杉並区としてさざんかステップアップ教室というものをどう考えているのかということだけでもご披瀝いただいたほうが、この後の改築を考えるにきっと何かいいものをもたらしてくれる気がするので、そこだけでも、ご要望というよりは行政としてどう捉えているかということだけでも回答いただいたほうがいいのかと思いましたが、いかがでしょうか。</p>
進行役	<p>というご助言がありましたけれども、それではどうでしょうか。</p>
教育相談担当 課長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。区としましても、もちろんこういった教育支援センターは必要だと考えてございます。</p> <p>今、委員からご指摘いただいたように、ご心配な部分もちろんあるかとは思いますが、区としては小学生、中学生が一緒になることで広がっていく活動の幅、得られる教育的な効果というところにぜひ期待を</p>

	<p>していきたいと考えてございます。</p>
委員	<p>今、伝えておかなければと思ったのは、学校という場所の特性というか、集団でみんながというような場所が得意ではなかったりとか、学校で嫌なつらいこととかがあって来ている子とかがいっぱいいるのです。</p> <p>私の子どもは小学生で、荻窪教室なので併設されてなくて、今、小学生は単体です。天沼のさざんか教室が併設されているということなので、どうやって共存しているのかなというのはちょっと分からなくて。今、荻窪で独立しているから、子どもも本当に行きやすくて。</p> <p>今うち不登校で、小学校に週1回一応行くというのを先生と約束して行っているのですが、やっぱり学校に行くと、行っただけで結構疲れてしまうというか、学校が、みんながやっている何とかみたいな、同じことを貼られている場所みたいな、そういう場所に行くことが結構ストレスというか、うちの場合はそこに行けなかったとか、落ち込んではいないのですが、結構心理的に学校に行くというのがちょっと。</p> <p>だから、不登校になった子で、また併設されている天沼教室に通うことがつらいとなってしまうたりする子もいるのではなかろうかと思えます。今、中学校に通えている子だって、もしかしたら行けなくなってしまうことがあったときに、併設されている効果というのがあるのですけれども、当事者としてはこれ全部別にそんなにいいこと、中学校と関わってとかいうのはむしろそんなに求めてないというか、別であるからこそいいことがいっぱいあって、そこに来ている子たちでまたやれていることとか、別の世界があるので。</p> <p>外から見たら、もしかしたら中学校と関わる方がいいことだみたいな感じなのかもしれないのですが、そうでは……。天沼中に今小学校で別にあるのを一緒にすることで、子どもの心みたいなことがよくなるほうにいくメリットがこれだけなのかなと思ったら。でも、決まってしまったのであればしょうがないのですけれども、こういう意見は多分不登校の親たちは結構みんな……。</p> <p>今でもちょっと隠れるような、隠れる必要ないし、別に悪いことではないと私は思うのですけれども、でも周りの目からしたら行けなくなった子とか、かわいそうみたいな感じで今でさえ見られているのに、そこに、併設された場所に行きたいのかなと思ったら、という意見だけ。</p>
進行役	委員、どうぞ。
委員	杉並で初めて併設型にするということですので全国的には、私、結構

	<p>全国の併設型も見ているのですが、特に北秋田は、環境は違いますが、山の上にログハウスが建っていて、そこに宿泊もできる形で中学生も小学生も不登校の子たちが、それも原籍の学校に籍を置いたまま、中野の子が、大分の子が北秋田に半年間来るとかということが、学校間でやり取りできるような仕掛けにしてあって、そこに在席するというのもできるのです。在校してもしなくても、ある程度自信がついたら一緒に、普通に近隣の小学校、中学校に行って友達と遊んだり、ログハウスで小中併設型のところにも英語の先生とかいろいろな先生が通ってくださって、結構いい環境なのです。広島の教育センターについているところも併設型ですし、どうつくっていくかということが一番肝心なことで。</p> <p>子どもたちの心は弱々しているだけではなくて、置かれた環境の中で自分で考えていく力というものが備わっている。今この環境にきゅうきゅうとしていて、呼吸ができないから自分の場所を求めているとしたならば、新しくできる空間がそういう場になっていけるような適切な関わりをみんなですていくこと、やる前に恐れることよりも、一緒につくっていくということが一番大事なのではないかと。</p> <p>それとある程度、この3行だとやっぱりお母様の不安はすごく伝わってきました、自分の中でこう思ってきたものの中から飛び出すのというのは、人間なかなか難しいところがあるというのは分かります。ですから、幾つかそういう声を拾って電話をかけるとか、メールでやり取りをするなどして、ご紹介することもできますので、そういうところでのメリットというものも拾って、杉並独自にこうやっていくのだというものがきちんと打ち出されたならば、こんなにご不安にならずに済むのではないかという気がします。</p> <p>初の試みには常にそういう戸惑いとかいろいろな不安がついてくるかと思いますが、一緒につくっていくのだという確固たる信念を基に、よその県ではこういうことをやっているとということの事例も幾つか入れながら、併設型に取り組んでいきたいという打ち出しをなさるべきではないかのご意見を伺っていて感じました。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>すみません、進行役なのですけれども、私からちょっと。今のご不安なところがあったと思うので、さざんか天沼教室と天沼中学校の関係みたいなところについて簡単にご説明させていただきます。</p> <p>ふだん基本的には、活動が一緒になることはほぼないです。ほぼないというか、ゼロです。入り口は今ここのちょうど向こう側のところにな</p>

	<p>っております、本校の生徒の登校に使う門はその東門と北門なので、ほぼ会わない形になっています。</p> <p>ただ、天沼教室は設備面において、この次の、隣の旧コンピューター室の下にあるところだけしかないのです、例えば調理実習をさせたりとか、何か特別教室を使ってする活動のようなものとかのバラエティーがちょっと少ないので、うちが合唱コンクールでいないときだとか、そういうときに調理室を借りて使っていたりというような形の交流の仕方をしています。生徒が直接うちの生徒と関わり合ったりということは、本当にありません。</p> <p>私も赴任してきて、天沼教室がうちの学校にあってすごいメリットだなと感じているのは、気軽に教員が、天沼の教室に通っている生徒がいなくなった放課後の時間とかに情報交換ができることです。私もいろいろな区内の学校を回っていましたが、さざんかステップアップの天沼教室に通っていますといっても、なかなか担当している先生方と面と向かって情報交換はできないですけども、うちは扉1つ開ければ行けるので、そういう意味でもすごく密に「今うちの学校として連絡を取っている内容はこうですけども、さざんかでの様子はどうですか」ということができているところもあり、実際に学校と併設になっているという形にもかかわらず、さざんかステップアップの天沼に関しては、昨年度の状況でいくと「人数が多過ぎるのでやめてくれ」「別の教室をご案内してくれ」ということを学校が言われるような状態になっているぐらい人気になっています。</p> <p>ですので、もちろんいろいろなご不安とかもあるとは思いますが、今のうちの学校と天沼教室の関わりといったときには、不安としてはちょっと少なく、和らぐことができる部分もあるのかなと思ってお伝えさせていただきました。</p>
委員	1つだけ、単純な疑問ですけども、校庭とか体育館とかは天沼教室で、今さざんかの子は使うことはできてないのですか。
進行役	うちの学校がいないときとかになってしまう形になります。
委員	例えばそれが普通の天中の子たちと同等にさざんかの子が使えないのは、正直、権利というか、天沼教室の子は校庭も体育館も使えないということですね。併設になったら使えないということですよ。
進行役	そうですね。
委員	荻窪教室は、今、体育館が使えるようになって、体を動かすのはすごく大事なのです。天沼教室の子は併設になると体育館とか、さざんかの荻

	窪の子たちとかも、併設になったら校庭とか体育館は中学校の子がいな いときだけ使えるという形になるということですか。
進行役	そうですね。宮前とか和田とか、ほかのステップアップ教室に関して もそういう施設は基本的にありませんので、恐らく若杉小の体育館が使 えるというところは、今のさざんか、萩窪の一番の特色というか、メリ ットになっているのだと思います。だから、そのところはどうかという ことについては、また別の話になってくるのかなと思うのです が。
委員	不利益ではありますよね。校庭も体育館も……。
進行役	委員、どうぞ。
委員	さざんかのことだけですごい時間を取って申し訳ないですが、中学生 の教室が今天沼中に併設されていることについて全く問題がないとい うか、今はすごく天沼中学校のいろいろなご好意を頂いています。例え ば子ども的人数に対して教室が本当に狭くて、いっぱいいっぱいなの ですが、備品等を片づけていただいて、倉庫を拝借しているという感じな のですね。「この倉庫の中に子ども1人いるの」という感じなのですが、 改築を機にそういう問題はきっと解消されていくのだろうと思うの ですが、小学生の教室を中学校に併設してしまうということについて、 全体から見たらすごい効率的ではあるのかと思います。 だけど、子どもの立場から言って、本当にそれがいいのかというこ とは検討していただきたいと思うのです。委員がおっしゃったように、施 設全体の条件がすごく整っていれば、いろいろな子どもたちは選択肢が あるわけですからいいと思うのですが、そもそも通えなくなるようなお それがあるような併設はちょっとどうかのかなと、すごく懸念しており ます。 以上です。
進行役	どうもありがとうございました。今のご意見を踏まえて、またあれだ と思いますので。 では、委員、お願いします。
委員	大変失礼な言い方になるかもしれないけれども、こういう教室がある というのは存じ上げているのですけれども、大変申し訳ないですが、内 容については私も存じ上げていなくて。 ただ、この委員に選ばれたいいいますか、考えたときに、言葉は悪い言 い方になるかもしれませんが、今の旧若杉小学校跡地の利用があ るので、変な話ですが、そこが追い出されてしまうというか、それなの

	<p>でこちらのほうにというようなニュアンスに受け止められなくもないですが、もう1つ、私もこれを見ても、こちらにするにしても、今の体育館だとかの使用ができるかもしれないといっても、現実的には多分無理だと思います。生徒のいないときに使うというのは、まず無理なのですね。そうすると、ここの図面だけの狭い空間の中で果たしているのかどうか。これからの先を考えると、これだけでは足りないのだと思います。要するに、庭があったりという部分も必要だと思うのです。</p> <p>1つ考えられるのは、保育園。盛んに保育園をつくりましたけれども、将来的に見ると、保育園は既に余ってきているわけです。その保育園を使ったほうが、より環境的にはよろしいのではないかと考えているのです。そうすると、学校とは場所が違います。近いところもあるかもしれませんが、多角的にはほかの施設といいたいまいしょうか、これからのいろいろな検討があると思いますけれども、例えば運動場的なものについてはこの中学校だけで完結するのではなくて、周辺の地域を共用するとか、そういう考え方も出てくると思います。その中の1つとして、さざんかステップアップ教室の位置づけといいたいまいしょうか、在り方というものも検討したらよろしいのではないかと考えています。よろしく願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。さざんかのところについてはご意見として承らせていただきまして、また事務局でもご相談いただきながらということになると思います。</p> <p>そのほか、これまでの説明のところについて、何かご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>資料4についてご説明があった件について質問します。</p> <p>資料4の2の「天沼中学校の概要」の生徒数の推計ですが、この推計は近年全国的になった私立も含めて高等学校まで実質無償化という、東京都が先んじてやっているわけですが、その近年の環境を踏まえた推測なのか、それ以前の推測なのかをまず質問させてください。それが1点。</p> <p>2点目は、生徒数の数字を推計することは非常に重要で、新しく施設を造る教室数とかに影響すると思います。一方、次のページの3の(2)の「目指すべき姿」で、一番最後に「12学級規模で7500㎡」と書いてあるので、これを3学年で割ると1学年4学級ですから、生徒数の推計にかかわらず今3クラスで4学級と最大見て、余ったところは柔軟に対応できるような施設というのは大賛成です。</p>

	<p>ちょっと口酸っぱいことを言うと、天沼小学校はさっき言った若杉小学校と杉並第五小学校が統一するときに見込んだ児童数が 350 だったのに対して、現在は 700 名と 2 倍になっていると。この見込みの違いは実は悪いほうの例でして、少なく見積もってしまったために、それだけでなく狭い校庭にもう 1 回校舎を建てるような、まずい例だと思うので、そうではない方向にしてほしいので、私が言った推計値の正確さとともに、少し多めに見て学級数を想定するのは大賛成という意見です。</p> <p>ということで私の意見と、まずこの推計数は現状の高校無償化を見据えた推計値なのかどうかを教えてください。</p> <p>以上です。</p>
進行役	それでは、事務局のほうでいかがでしょうか。
教育施設計画 推進担当係長	<p>私から説明させていただきます。</p> <p>まず推計についてですけれども、高校無償化と中学校とどうリンクしているかという、ちょっとそこはあれなのですけれども、ただ杉並区の傾向として、私立の中高一貫校に通う生徒さんの割合は相当数あって約 5 割近くだったか、たしかそれぐらいの数字だったと思うのですけれども、それを反映した推計値になっております。</p>
委員	反映した数字になっている。
教育施設計画 推進担当係長	はい。
委員	それでも微増するという。
教育施設計画 推進担当係長	そうですね。
委員	そうなのですね。分かりました。
教育施設計画 推進担当係長	あと推計の時期ですけれども、今年の 11 月だったと思います。学務課のほうで試算をした数字になっております。
委員	ありがとうございます。
進行役	<p>そのほか、ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ここまでのところについて質問ないということで、今度はこの懇談会のスケジュールについての説明を事務局のほうでよろしくお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>先ほど使いました資料 4、横長のものを御覧いただきたいと思えます。後ろから 2 番目のページでございます。「懇談会の開催予定」となっております。</p> <p>本日、第 1 回目になります。</p>

次回、第2回目を事例見学として、最近改築を行った学校の見学をしたいと思っています。おおむね2校から3校程度を想定しております。

それらを踏まえまして、第3回からは基本方針の策定作業に進んでいきます。第4回が7月、第5回が8月を想定しております。

基本方針が決まりましたら、今度は校舎の敷地内の配置案の検討に進んでいきます。こちらも大体3回程度、第5回目の後半から第6回、第7回というところで検討を進めていきます。

第7回では決めた配置案に、今度は具体的な平面図に移っていきます。平面計画は第7回から第9回まで検討をしていく予定で考えております。最終的に令和8年3月に平面計画を確定させて、「基本設計まとめ」というものを確定させていきたいと思っております。

皆様にお配りした資料の中で、神明中学校改築の際に策定しました「基本計画まとめ」というものがございます。参考資料3番になります。こちらを御覧いただきますと、これらがこの懇談会の最終的なまとめのイメージとお考えください。

1枚めくってもらって、「基礎的条件」等が書いてあります。敷地の概要ですとか既存施設の概要、そして計画の条件、生徒数や学級数の推移、それと将来推計。さっきざっくりお話しましたがけれども、より詳細な推計値を記載していきます。

8ページ目に「改築基本方針 全体像」を示させていただいております。この懇談会でまず決めていきたいのは、この基本方針でございます。本日この後、皆様から様々なご意見を頂く予定でおりますけれども、そういった意見を踏まえまして、基本方針を作成していきたいと思っております。

この基本方針というのは、委員の皆様を含めて、改築に対しての共通のイメージをしっかりと共有していこうという趣旨で作成をしていきます。設計の概略である基本設計に基本方針を生かしていきますので、後ほどよろしくお願いをいたします。

基本方針が決まりましたら、校舎の配置等の比較検討をしていくものになっていきます。最終的に平面計画に落とし込んで、いろいろな図面がありますけれども、こういったものを作成しているところです。配置計画の検討段階になりますと、私どもだけではなくて営繕課や、あと設計事務所も入ってこの懇談会を進めていくようになります。設計事務所が、3回目か4回目ぐらいから懇談会に参加していく予定になっております。懇談会の開催予定については以上でございます。

	<p>資料4に戻っていただきまして、一番最後のページに「改築スケジュール（予定）」を記載してございます。</p> <p>こちらは仮に作成したものでございまして、令和7年度に基本設計、令和8年度から実施設計と進んでいきます。校舎のプランによって変わってきますけれども、仮設校舎を造るとすると令和9年度から仮設校舎を造っていきます。仮設校舎に生徒さんが移りまして、新校舎の建設工事が令和10年度中からというのを一旦想定しております。</p> <p>工事期間については2年半程度と想定しておりますけれども、昨今建築現場におきましても週休2日制の導入等もありまして、建設工事自体の期間が長くなっていく傾向にあります。2年半を越すケースも考えられます。順調に行ったとして、新校舎の使用開始は令和12年度か13年度というところが最短かなと思います。</p> <p>その後、環境整備工事、校庭の整備の工事を済ませて、工事完了となります。現在の資料ですと、令和14年度までの表になっております。</p> <p>先ほども申し上げましたとおり、敷地条件、校舎の配置・プラン、工事範囲等によって工事期間等は前後していきますので、その点ご容赦いただきたいと思います。</p> <p>私からは以上でございまして。</p>
進行役	<p>今後のスケジュール等について説明がありました。今後は基本方針の策定、校舎の配置計画、平面の計画の順番でということですので、皆様よろしくお願いいたします。</p> <p>今日は第1回目ということで、基本方針（コンセプト）の作成に向けて、委員の皆様方からお考え等、ご意見をお話しいただきたいという会となっております。それぞれご推薦いただいた団体のお立場や考えがあると思いますので、それを踏まえながら改築検討懇談会として、生徒たちが過ごしていく学校の改築に重点を置いてご発言いただき、この基本方針に盛り込んでいただきたい思いについてお話を頂ければと思います。もし特にないようでしたら、「特にありません」でも構いませんので、よろしくお願いいたします。</p> <p>学識経験者の先生方には、最後にご講評を頂きたいと思っております。</p> <p>順番としては、私の左手の委員からお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、どんなコンセプト、どんな学校にしていきたいかということについて、改築についてのご意見等をお話しいただければと思いま</p>

	<p>す。よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>座ったまま失礼します。</p> <p>天沼小学校が改築になったときにまず驚いたのが、本当に光を多く取り入れた学校でして、今の天沼中学校も明るいですけれども、本当に教室が明るくなったなという印象を受けました。床のフローリングの感じもそうなのか、天井も高く取ってもらって、本当にゆったりとしたつくりになったと感動いたしました。風が通る、光も通る、そういった中学校になってほしいと思っております。</p> <p>すみ分けはいろいろ必要かと思えますけれども、私は中学校のPTAで活動するのもそうですし、地域としても活動を行っております、そういった協働で使って行って、地域の方たちが中学校に通う生徒たちに理解が深まるような、そういった学校の改築になるといいなと思っております。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて委員、お願いいたします。</p>
委員	<p>私も天沼小学校に子どもが通ってから天沼中学校に来ていて、下の子は今現在天沼小学校に通っているのですが、天沼小学校が改築された後の校舎はすごいすてきで、地下に震災のときの救援の何かいろいろ防災のものが整っていたりだとか、屋上もプールがあって、いろいろ工夫しているというような話も伺いましたので、最先端の技術を取り入れながら明るい校舎になって、なおかつ先ほどさざんかのお話もありましたけれども、地域でもいろいろ活用できるような拠点にさせていただけたらいいのではないかと思っております。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは委員、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>沓掛、天沼両小学校とそれから天沼中学校と、コミュニティ・スクール運営協議会で3校合同の会議を開きまして、そのときに3校の運営協議会の皆様方からたくさん意見が出てきていて、今回これの資料の中にもっと細かいところまで載っているものをおつけするべきだったなと思いつつながら、次回お渡しして、皆様方にもお目通しいただきたい。</p> <p>その中には皆様方の思いがとても出ていて、防災の拠点になること、地域のコミュニティが活性化する基盤となること、多くの年代層の方たちが関わりやすい学校をつくっていくこと、何よりも一番は子どもたちが安心・安全に学べて、健康・健全に過ごせていける学校、校舎を希望するという、私からの望みはそこなのです。</p>

	<p>さっきご説明にありましたとおり、遠い先、この後 10 年、20 年の人口推移の傾向を見ても、このエリアの地域状況を考えても、各小学校からは半分ぐらいしか、天中も頑張るのですが、私が「頑張る」と言うてはいけません。頑張るのですけれども、私学にお抜けになる方たちが半分はいらっしゃるということで、できれば割と近隣が住宅街なので、全部が高くなるよりも年配の方も入りやすいように、1 階に地域の方たちが集いやすい空間があるとか、そういう校舎づくりとかをしていきたいなど。</p> <p>この間、全然関係ないときに「この辺の地域には区が運営しているプールがないので、天中改築するんだったら、体育館の下にプールつくって、私たちが泳ぎに来られるように」と 70 代の女性に声をかけられて、「そうですよね。健康の維持に水泳は欠かせませんね」とお話をしたのですが、そういうご要望も地域の方たちにはあるということに改めて受け取って、子どもたちも使いやすい、地域からも愛されるという学校を目指していきたいと思います。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは委員、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>委員のコメントとほぼ重なるところが多いですけれども、神明の場合にも、先ほどご紹介の「改築基本方針 全体像」でビジョン 1、2、3 とあるわけですね。もちろん学校教育をまずは重視すべきですけれども、それをまず第 1 にした上で、ビジョン 3 「学校と地域の『学びのプラットフォーム』として、地域と共に行動する学校」というこの手のテーマが必ず出てくるはずですが、これの具体的な施設への落とし込みとかノウハウ、実際の運営が非常に気になるところです。</p> <p>今後の検討予定の中でも、もちろん事例見学が入る。それからさらにステップアップしていくのですけれども、1 回、地域との学びのプラットフォームでも何でもいいのですけれども、どういう具体的なイメージのものがこれから考えられるのか、施設面に落とし込めるのかというあたりが一番気になります。ですから、何かそういうセッションを 1 回入れていただきたいなあと。</p> <p>教育のことはもちろん専門家の方々のいろいろな蓄積があるのだと思うのですが、地域の中の学校なるものの具体像、これから 20 年、30 年、さらに 50 年を見込む。今は非常に大事な時代の変わり目にあると思いますので、ちょっとそれを感じました。よろしくお願いします。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>それでは委員、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>皆様のご意見聞いていて、すごい席に座ってしまったなど心から思っております。私は多分皆さんみたいなご意見がいろいろ言えなくて、子どもたちレベルの目線でしか今後も見えていけないと思います。</p> <p>ただ、中学生がすごい身近に感じていることだけをこの会でお伝えできればなど。たった3年間しか通わないからこそ、子どもたち中心であることを忘れずに参加させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは委員、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>今までさんざん言わせていただきましたので、ぜひご検討いただければと思いますということと、今おっしゃったように、地域の中の学校は大事だと思うのですが、子どもたちがとにかく居場所だと感じられて、彼らの可能性が本当に伸ばせるような空間であり、場所である中学校ができればいいなと願っております。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは委員、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私もいろいろ言ってしまうと、すみません。さざんかのことが主な目線になってしまうのですけれども、みんなが幸せに共生できる空間みたいになったらいいのではないかと思いました。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは委員、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございました。本当にお隣のさざんかステップアップ教室の方々からの意見というのは身につまされる思いで、この併設というのがどのようなプロセスで決定されたのだろうか、この改築以前の議論がなされているなというのを感じていました。もう少し深い問題提起を頂いたのではないかと考えています。子どもの意見とか、子ども中心で考えていけたらいいなというのを感じました。</p> <p>あと、私、どうしても南荻窪、神明中学区に住んでいたことで、この天沼学区と比べることがすごく多くて、さっきおっしゃっていた体育館がこの辺ないなど。南荻窪のほうが子育て世代にとっては、自分自身も長く生きていくには、すごく資源が充実していたなという思いもずっとこの5年間しています。この天沼中が天沼地域の財産になるように、一緒に考えていけたらと思いました。今日はありがとうございました。</p>

進行役	それでは委員、お願いします。
委員	<p>今日はありがとうございました。私もこういうところにいるのは初めてなので、あまりちゃんとしたことは言えないですけど、今子どもが小学生で、1個思ったのが、先ほどもあったのですけれども、プールが暑過ぎて入れないことが小学校でよくあって、プールは暑いから入るものだったのに、水が熱過ぎて入れないというのにちょっとびっくりしていて、それがかわいそうだなと思うし、泳げない子が増えているので、もしできたら室内のプールみたいなものが今後あったらいいのかなというのと思いました。今後もよろしくお願いします。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。 それでは委員、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>自分が住んでいる場所と杉並のここの地区を比べると、安全だし、地域の方々が本当に温かいし、学校のことを一生懸命考えているところが本当にすてきな場所だなと思っています。</p> <p>ですから、今回も何回も何回もお話しする中で、皆さんが改築のことをきっかけにしながら、まちづくりのお話が大学の先生からもありましたけれども、こういうまちづくりができるのだとか、さっきも北秋田の話をして、多分違うところに行って「杉並の天沼ではこんな話があるのですって」みたいな話が10年後でも20年後でもされるといいなと思っています。</p> <p>学校づくりは60年、70年たたないと新しい学校は多分できなくて、今度長寿命化とか考えると、こんな時代に100年後のことなんて分からないので、AかBかとかではなくて、取りあえず新しい考えとしてCとか、正解を求めるのではなくて最適解で取りあえずみたいなのところも、私も概念崩しで新しい考え方を生み出しながらやっていけたらいいなと思っています。楽しみにしています。</p>
委員	<p>本日はありがとうございました。今後、基本方針を明確にしていくということだと思うのですが、杉並区が進める地域とともにある学校づくり、及び天沼中さんがこれまで地域の方々と一緒にCSで作り上げてきた天沼中の特色ある教育活動を推進していける基盤となるようなハードが求められると思いますし、今日お話に出ていたようなさざんかさんとの併設や今の教育課題を踏まえたもの、そういったことを踏まえて今後つくっていくことを期待しております。また、そういった取組が杉並区のビジョンにあるような、皆さんの幸せにつながっていくようなのだと考えます。今後もどうぞよろしくお願ひいたします。</p>

進行役	ありがとうございます。委員、お願いいたします。
委員	<p>実はこちらの資料を頂いたときに、さざんかステップアップの併設というのが、どっちがどっちに併設されるのか、はっきり読み取れなかったのですね。というのは若杉のほうの跡地問題のことも今起こっている、こちらの建物のことも起こっている。さざんかステップアップはその改築最中どこでどうされるのかなというのは一番気になっていて、とりあえず最終的にはこちらに併設が計画されていることが今日は初めて分かって、そこところが区として、こちらの計画案を見ても、例えば3年から天中改築事業の計画が始まっていて、ただステップアップ教室の併設というのが6年、昨年度初めて俎上に上がっていて、それがここで初めてぽつと話が出てきているのにほとんど決まった形で報告されたというのが、多分、担当の現場にいらっしゃる方々からすると、「それは聞いてない」という形になったと思うのです。なので、計画についてもうちちょっと丁寧に、地域なり現場なりにお伝えいただければよかったかなと思います。</p> <p>実際どういう形に最終的にできるかということこれからこの中で考えていったりとか、区のほうでお考えになると思うのですがけれども、一番気になっているのは建設途中に入ってきて、出ていく子どもたちもいる。私もそれこそすぐそこに住んでおりますので、建設中に車がどこからどう入ってきて、交通規制がかかるのとか、そういう問題もこの学校正直はらんでいると思います。西側は完全には入れませんし。</p> <p>前、こちらの校舎が建ったとき私は子どもで、そのときに地域がさんざんばら文句を言ったのをよく覚えています。というか、真東になるので日照権の問題で、たしか学校はここを3階建てにしたかったのを、西側が猛反対をして2階にしてもらったという経緯があるのを子どもながらに覚えております。</p> <p>それだけ立地的になかなか難しいところにある学校で、これから12年度に完成するまでに通学をしてくる子どもたち、それこそ天小の子は向こうに行く、沓掛の子はこっちに向かっていく、天中の子どもたちはこの道路を使って通学をしてくる。そこに工事の車が入ってくることをどういうふうにするかということ。先のこと大事だと思うのですが、建設途中でどう管理されるかということもぜひお考えいただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは委員、お願いいたします。</p>

委員	<p>私もあまり専門的な知識は全然なくて、今まで地域で小学校や中学校の子どもたちと一緒にいろいろな活動してきたその経験だけなのですが、もちろん地域住民が共有して使えるような施設ということも大事だと思うのですが、中学生がずっと「自分たちの居場所がない」と言い続けてきたことを聞いてきた身としては、子どもたちが本当にリラックスできて、安心して通いたいと思えるところ、もしそういう魅力的なものがあつたら、どんなに親が中高一貫の私立に入れようと思っても、「あそこの学校行ってみたい」「あそこの学校にはこんなチャンスがある」とチャレンジができる、公立校にしかないメリットがアピールできるものができたらいいなと思います。</p> <p>それから、今どんどん増加している発達障害の子どもたちはこれからもうなぎ登りになっていくと思います。それが登校拒否であったり、きつい言葉でいいますと発達障害の程度の問題もあると思うのですが、空いている、休園になった保育施設を使うということも1つの手だと思うのですが、そういう子どもたちも安心してその中で暮らせるような、難しいのかもしれないですが、スペースができたらと思います。</p> <p>それから、天小を実体験した身としましては、確かに光さんさんで、おしゃれな学校です。ただ、設計のときに言われたのは、例えば空気が循環して、エアコンも要らないようなすばらしい施設という設計者の話は聞いていたのですが、実際のところ、例えばお茶室と称するものが一角にあるのですが、青カビが生えてしまったり、1回お菜箸を使うと、次に家庭科で使おうと思ったら青カビが生えていたり、そういう設計者の目線というか、計算上なっていることが実際は計算どおりにいかないということ。</p> <p>それから、この頃想定外の雨量というものがあるので、気がついたらセンターコートが全部雨で、雨水升が入らなかつたりという、設計の方が考える理想的なすばらしいものは現実対応ができるかというところがあると思います。だから、本当にすてきな建物なのですが、転用ができるかという難しい部分がある。</p> <p>ほかの学校で「天小の建物でこういう問題があつたので、今度こちらの建物ではそういう点が起こらないようにしています」という話を聞いてむかつと来たりしたことがありましたので、あんなにおしゃれではなくてもいいので、ほっこりとした建物を造っていただきたい。</p>
進行役	ありがとうございます。

	<p>それでは委員、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>今すごい衝撃なお話で、とても勉強になるお話を聞かせていただきました。</p> <p>防災のことで申しますと、今日は具体的なことは申しませんが、この10年ぐらいですごくで気になっていることというのは、東日本大震災で、そのときの大川小学校は皆さんもちろんご存じだと思うのですが、あの設計をした方が大事な小学生の命を守るのだということで、本当に念には念を入れて、耐震ということですから、しっかりした学校を造ったんだそうです。だけど、津波のことは考えていなかったということで、すごく悔やんだということを言われています。いろいろな視点で安全ということ、子どもたちを守るということ、この場に加えていただいているからには、そういうことをできるだけ。</p> <p>関東大震災100年になりまして、101年目、102年目になってきてまして、本当にいつ首都直下が起きてもおかしくないということです。西日本のほうを言いますと、南海トラフが80%だと言われていて、国のほうでは訓練、訓練ということをすごくやっている状況でございます。そういうこともちょっと頭に入れていただいて、建築のときに、マストだと思うのですが、そういうことを自分ですごく気になっているということで、よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>では委員、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>1つだけお聞きしておきたいことがあります。ここは高さ制限がありますよね。何階まで建てられるのですか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>新しい建物は3階まで建てられます。</p>
委員	<p>3階ですよ。今、校舎は4階建てになっていますね。</p>
進行役	<p>こっち側ですね。北側だけです。</p>
委員	<p>それを考えながらイメージしていかなければいけないと思うのですが、1つ非常に悩ましいところがあります。</p> <p>ここの地域というのは、地下水が豊富なところなのです。地下水はたまっている水が井戸で出てくるのではなくて、地下水脈がイメージとして恐らく川のように流れている、豊富なところなのです。</p> <p>何を言いたいかというと、今までも地下を掘削したことで天沼の弁天池、それから妙正寺池の水脈を切断してしまったのです。今は人工的にくみ上げている。高さ制限があると、どうしても地下を掘ってと思</p>

	<p>たくなるのですが、今のこの周辺にも結構井戸があります。地下を掘ることによって、井戸水が枯れてしまうということが十分考えられるのです。</p> <p>ということは、今、周辺環境ということも言われております。天沼中学を改築したためにこうなってしまったとかということが言られないように、環境に配慮したといいますか、周りも配慮した形で進めていくのがベストなのではないかと思えます。非常に難しい判断になると思いますが、ちょっとそれを考えております。よろしく願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員、お願いいたします。</p>
委員	<p>私はここに参加させていただくに当たって自治会、一町会の代表だけではなく、天沼中学校を中心とした全体の地域の代表としてぜひ考えていきたいというのが心構えでございます。</p> <p>そこでちょっとまた質問で申し訳ないですが、この改築計画は西、北、体育館、プール、テニスコートも含めて全部を、全て取り替えるという発想でいいんですよね。</p>
進行役	<p>そうです。</p>
委員	<p>そうですよね。委員から今いろいろ、建築上の地域の難しさが語られたと思いますが、確かに西校舎は向こう側にすぐ隣接しているので高い建物は建たないとか、そういうことも含めて全部取り替えるのであれば、全然発想を変えて、西側を全部オープンにして北と東だけにするとか、そういったドラスティックな考え方も必要だと思います。建築の専門家もおられるので、そこら辺はお任せしたいと思いますが、思想としてはそう考えています。</p> <p>もう1つ、地域として絶対に言いたいことは、ここは防災拠点の大きな基地になります。この神明中学でも最後のほうに目標で防災。防災は必ず入ると思うので。</p> <p>ここの中学校の地域的な不利な点としては、皆さんご存じのように、周りに大型緊急車両が入れないのです。この問題は、区の道だから、なかなか道の広さはどうしようもないところがあるにしても、例えば西門から全て緊急車両が入るのであれば、そういうのも考慮しながら、震災時に物資供給のために車が入らなくてはいけないのは必須なので、ぜひそこは考えて、皆さん共通の認識で持っていただきたい。</p> <p>加えまして、私の要望としては、震災救援所という意味で、杉並区の組織として防災課はすごく大事なもので、もしできることであればこの関</p>

	<p>係課、名簿の中に防災課のどなたかも入れていただいで、防災の立場で行政の点から考えていただければなおありがたいというふうに思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは委員、お願いいたします。</p>
委員	<p>もう皆様からほとんどの意見が出尽くしたような気がいたしますが、私はこの天沼中学校のCSもやっておりますので、そこで3校合同のCS会議の中で改築問題を取り上げて、その中で多数のご意見を頂いております。確かに先ほど委員がおっしゃったように、今回その話がこれに載っておりませんでしたので、ぜひともそれは参考にしていただきたいと思っております。そこには地域の皆さんのご意見も入っておりますし、私ども町会の皆さんの意見も入っておりますので、それはぜひとも参考にしていただきたいと思っております。</p> <p>あともう1点、つい最近ですが、近くのコンビニに強盗が入りました。そのときに防犯関係のことですね。あまりに学校を広く地域に公開してしまうと、セキュリティの面で問題もあるのかなという気もしております。そういうことも踏まえた上で、学校をつくっていただければと思っております。</p> <p>あと、何でもかんでも今あるものを詰め込めばいいというものではないと思っておりますので、地域の連携として、例えばプールはどこかほかの場所を使うとか、旧若杉小学校取り壊しの問題もありますので、そういうところを利用するとか、そういうことも考えた上でつくっていただいたほうがよろしいかなと思っております。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>最後に、私が出した学校意見書は配っていただけということですね。この改築検討委員会が始まるに当たりまして、天沼中学校のCSのほうでも生徒や地域へのアンケートが「メビウス」に載っているのですが、これも「メビウス」にまとめられているものがそれになります。</p> <p>また、先ほど本校のCSの委員から話があったとおり、3校合同CS会議の中で様々なご意見を頂いております。それについてまとめたものは学校整備課に私のほうでメールで送らせていただいておりますが、それを踏まえて私が2月末に考えたコンセプトというところの案として、学校としての意見を出ささせていただきました。これはCSにも出させていただいております。</p>

	<p>1つは「時代が変わっても生徒が学びの充実に対応できる」ということで、ちょうどコロナのときにGIGAスクール構想で一気に生徒にタブレットが配られるという、ドラスティックに変わったという言い方をするとあれなのですけれども、10年前ではなかったような学習の姿というのがあるようになった。それは恐らくこの後もあるだろうということも含めて、柔軟な対応ができる施設がいいなど。</p> <p>コンセプトのⅡとしては、「地域で暮らす人が集う施設。卒業生も集う施設」。要するに天沼中学校に通った、天沼中学校が1つの地域のシンボルというか、核となっていくような部分での施設になりたいなど。</p> <p>3つ目のコンセプトとしては、「地域の防災拠点としての機能を高めた施設」ということで、私、天沼の町会長会等にも出席させていただく機会があって、いろいろお話を伺っていると、若杉小の震災救援所がなくなって分散するという話もあり、既存施設の学校の防災拠点としての機能の強化は欠かせない部分だろうということ、この3つを柱として出させていただきました。細かいところについてはバーッと書いて、あくまでもアイデアレベルの部分であったりするところもあるのですけれども、この3つのところがすごく必要なのかなと思っています。</p> <p>また、地域教育、本校には天沼中学校区の地域教育推進協議会がありまして、社会教育の核となる組織もあります。ですので、社会教育の場としての中学校の利用ということも推進していけるような、ほかにはないような新たな発想の中で学校ができればいいなと思っています。</p> <p>プール等についても、また校庭の人工芝も、天沼小さんを見ていると、言ってしまうのは失礼ですけれども、校庭の砂がすごく校門の周りになるようになってしまっていて、それは近隣の方が苦情を言わないのは難しいだろうというような状態になっていることを見ていると、人工芝等も1つの検討として挙げていかなければいけないのではないかなということも含めて、このことを書かせていただきました。</p> <p>実現可能性の高いものから低いものも、全部ごったに書かせていただいておりますけれども、こういうものを教育委員会には出させていたいただいておりますということをご確認いただければと思います。</p> <p>それでは、一通りご意見を伺わせていただきましたので、先生方からご講評を頂きたいと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。私からは大きく2つ、そして補足として最後1つ、合計3つあるのですけれども、1つ目が中長期的な計画ということをもう少し意識してもいいのかなと思ったところがございます。もち</p>

ろんそれぞれの方々、委員のお立場からのご発言もありますけれども、それを取りまとめる上でも、もう少し長いスパンで考える視点があってもよいのではないかと感じております。

なぜかといいますと、議論の1つとして生徒数の推移、推計のお話があったからです。確かにこれはとても大事なことだと思います。それと同時に、今現在想定できる外部要因のことをもう少し踏まえてもいいかなと思います。例えば、ここ1～2年で新宿、渋谷、港区、川崎市などに、外国にルーツを持つ子どもが一気に入ってきました。しかも、小学校6年生の9月のあたりにです。

学校で起きることは何かというと、日本の学習言語が分からない子どもをまずは小学校で何とかして、そのまま中学校に入るみたいなことが起きていました。これは教育現場的にも、地域の方々も大変ですということになります。このようなことが、それらの地域で起きていたり、あと中野区ではダイバーシティを打ち出して、いろいろな人たちが入ってくるようになってきたところもあったりしています。

では、杉並は何が起こり得るのかということです。その両方かもしれません。今、杉並区より西側のことを言いましたけれども、それはこの地域でも起こり得なくはないと考えます。いきなり住居の高い建物が建つというのは地域的なこととしてはないかもしれませんが、将来のその可能性は否定できません。

そうであるならば、もう少し中長期的な視点で、12 学級規模の校舎を建てる際に、それを前提としてよいのかを再検討する必要があると思います。先ほど言った例でいえば、日本語がままならない子どもを取り出して支援したりすると、教室はもう1つ、2つ、3つ必要になってくるかもしれません。それでも、面積的にはどんどん拡張できるわけではないので、校舎の壁を移動できるようにするのかとか、広さを変えるのかとか、そういうもう少しここ数年、数十年を見据えた校舎の動きだったり、位置だったりを見据えてもいいのかなと思ったところが1つ目でございます。

2つ目です。校舎の環境について、さざんかのお話が今日も出ておりましたけれども、すごく興味深く聞いておりました。実はこの今のお話が、まさしく文部科学省で議論している内容と全く同じことをここでも話していたなと聞いておりました。

先ほど出させていただいた日本語指導もそうなのですが、校内外の教育支援センター、ここで言うさざんかです。そういうところを利

	<p>用する児童・生徒の方々だったり、あとは特定分野に特異な才能を持つ、「ギフテッド」の子どもたちへの対応も必要です。今まではそれを全部分けていたり、もちろん分けられなかったりするところもあって、でもそういう子どもたちの対応もこれからの時代必要です。</p> <p>そのことに向けた校内の環境だったり、もちろん場所のことだったり、それらはどうしますかというのが今まさに文部科学省のほうでも話されている、本当にすごい問題になっているというか、議論されている内容です。それでも、完璧な解決策は実はなく、結構地域ごとにあとは対応してくださいというような状況にもなりそうだなと思っています。そこで、この地域ではどうしていくのが、ベストはないですけども、より適切な方向性を見いだせるのかというところを、またそれぞれのご意見を入れつつ見ていったらいいのかなと考えています。</p> <p>最後3つ目。簡単なことかもしれませんが、今日の資料を見ていただければと思いますが、資料4が一番それを表していたなと思ったところです。これは事務局のほうでまとめていただいた資料ですけども、「1、2、3、4」といった大きなカテゴリーに分かれております。これは事務局がつくった資料なので、このような順番で示されています。でも、それぞれのお立場から資料を作るとしたら、多分違いますよね。さざんか教室をまず1番にしたいとか、子どもの学びを1番にしたいとか、防災とかを1番にしたいとかがありますね。</p> <p>というように今ここに来られている方々のそれぞれの立場が違うし、重視している視点や目的が異なるということを明確に意識した上で、なぜこの発言をしているのだろうかとか、自分はそれに対してどう思うのだろうかというところをすり合わせていくことが必要なのかなと思っています。</p> <p>最後のは感想でございました。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは委員、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>建築の在りようとか、空間がこうあったらいいなというようなコンセプトに相当するキーワードも、中にはご意見として頂いたのは特徴であったと思うのですけれども、それは実は設計の段階で設計者の意図とか、酌むべきキーワードをどう拾っていくかということで左右されることが多いのですね。</p> <p>だから、今日それよりも特徴的だったのは、子どもたちがこの空間、この場所でどう過ごすのかということをお大切にすべきだという皆様</p>

	<p>の強い思いだったと思うのです。それができていたのが少なくとも第1回の特徴だったし、この天沼地域の特徴なのかなと推測もしたところでした。例えば委員もおっしゃっていましたが、今後もここに通ってくる子どもたち、人を真ん中に据えた議論が必要だということには僕も賛成します。</p> <p>若杉小のワークショップで、実は天沼中の生徒会の方々が来てくださって、あの空間どういうふうに使ったらいいですよという議論をしているさなか、生徒会というか、中学生たちはこんなことを考えているのですよとか、実は小学校の意見も頂いたのですけれども、子どもたちの意見を直接吸い上げるというか、耳を傾ける機会もあったのですね。</p> <p>事ここに及んで、子どもたちの意見を聞くことがいいか悪いかはさておきなのですけれども、実際にここを使っているのは子どもたちであり、令和12年から13年度は5～6年後ですよ。今の小学生に議論をさせるのかという話はまたありますけれども、ただ、いずれにしても子どもたちが何を考えているのかということもすごく大事だと思うのでどこかで、この懇談会の中で、子どもたち何を考えているのかということの情報共有をしてもいいのかなと思いました。それが私が言いたい「人を中心に」ということの1点目です。</p> <p>もう1つは、これは事務局へのお願いでもあるのですけれども、今日の皆さんの意見を伺っていると、それぞれにこれまで議論してきたこととか中学校として取り組んでいること、CSとして考えてきたこと、行政として判断をしてきたことというのがあるのは理解できるのですけれども、それが説明の資料にはなっていないと思うのですよ。だから聞かれて答えるという話ではない場だとしても、ある程度の理解の共通認識みたいなものを持たないと議論できないこともあるでしょうから、どうやって判断してきたのですよとか、どんな議論があったのですよということのご披瀝も頂けるといいのかなと思います。これは資料として整えるべき話だとは思っているので、あまり分厚くなると読みづらくなってしまいう気もしますが、どんな経緯があったのかということの説明は今後も丁寧になされるべきかなと思いました。それが2点目です。</p> <p>以上2点のお願いと、これから人を中心に議論していく姿勢を大切にしていっていいのではないかという意見で、私の総評とさせていただきます。</p>
進行役	<p>先生方、どうもありがとうございました。</p> <p>本日委員の皆様方からご意見を頂きまして、誠にありがとうございました。</p>

	<p>す。十分思いを伝え切れなかった、発言できなかった部分等がありましたら「ご感想シート」のほうにご記入していただき、事務局までご提出のほうお願いいたします。後日、事務局から共有できるようにいたしますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、時間が大分押しておりますが、事務局から連絡事項をお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>では、まず1点目でございます。本日の会議録についてですけれども、約1か月後を目途に、皆様に議事録の案をお送りさせていただきます。ご確認いただき、修正の必要があればご連絡ください。懇談会の資料と議事録につきましては、先ほども申し上げましたとおり、杉並区教育委員会のホームページに掲載してまいりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>2点目に、お手元にある「ご感想シート・アンケート」についてです。項番1の「ご感想シート」と項番2の「改築基本方針作成のためのアンケート」は、本日十分にご発言できなかった部分がありましたら、こちらの用紙にご記入願います。</p> <p>次回の第2回懇談会では、施設見学を予定しております。最近の区内の改築校をアンケートの裏面に記載させてもらっています。ご希望の学校がありましたらチェックを入れて、提出していただきたいと思えます。見学先は2校程度を想定しております。そこまで記載が終わりましたら、アンケート用紙はお帰りの際に、出口で職員にお渡しくださいますようお願いいたします。</p> <p>また、事前にこの書類とは別で口座振替依頼書を送っていると思えますけれども、そちらも今日お持ちでいらっしゃいましたら出口で職員にお渡しください。</p> <p>アンケートや口座振替依頼書等、本日は出せず後日ということであれば、返信用封筒を用意しておりますので、出口で職員にお声がけください。ご記入いただきまして、5月1日木曜日までにご返信いただければ幸いです。</p> <p>最後に次回、第2回懇談会の日程でございますけれども、5月19日月曜日午後を予定しております。見学先が決まりましてから、集合場所、集合時間等、改めてお知らせいたします。</p> <p>私からの連絡事項は以上でございます。ご不明な点ございましたらお知らせください。</p>
<p>進行役</p>	<p>ということで、何点かございました。アンケート等、また口座振替依</p>

	<p>頼書の提出をよろしく申し上げます。</p> <p>また、今回は5月19日月曜日午後になりますので、ご予約のほうご確認いただければと思います。</p> <p>それでは、閉会に当たりまして学校整備・支援担当部長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>学校整備・支援 担当部長</p>	<p>改めまして、長時間にわたりご議論いただきましてありがとうございます。時間がもう12時を過ぎていますので、簡単に感想等を述べさせていただきますけれども、本日頂いたご意見は、これからの懇談会の中で、貴重なご意見として受け止めさせていただいて、今後考えていきたいと思っております。</p> <p>本日の懇談会で特に感じたことは、子ども中心にということで、私もこの改築担当を去年からやっておりますけれども、一番大切に考えなければいけないところであり、一方で杉並区の教育は地域との関わりが非常に大切だということもありますので、ここにいる関係者の皆さんとの関わり方など、様々なご意見を参考にさせていただきながら、改築検討懇談会を進めていきたいと思っております。</p> <p>最初のご挨拶で申し上げましたさざんかステップアップ教室については、区の計画の中で一緒になることは先ほど申し上げたように決定しているところです。ただし、本日の議論を踏まえると、まだまだ当事者の方の理解がどうなのかと、少し疑問に感じたところがあります。そうした点については、しっかりと当事者や関係者の皆さまの不安だとかご意見を聞いていく機会を設けなければならないのかなと思っております。</p> <p>なのでこの会議だけではなく、個別にご相談させていただくとか、ご意見を聞くとかということが大切と考えております。それはまた防災や、そのほかの議論についても一つ一つ皆さんの意見を酌み上げていくことが大切で、そういった点をしっかり確認していくことが改築検討懇談会の意義だと思っております。今回頂いた意見をしっかり参考にさせていただきながら、今後進めていきたいと思っております。</p> <p>また、アンケートの裏面で、どこの学校に視察に行きたいかという希望を伺っております。実際に改築された学校を見ていただくことで、また具体的なイメージができるというところもあるかと思っておりますので、ぜひご都合をつけていただいて、ご参加いただけたらと思います。</p> <p>今回中学校の改築ですからやっぱり中学校を見たいとか、小学校でも新しい学校のこういうところを見たいとかいうのがあれば、皆さんのご</p>

	<p>意見を頂いた上で調整させていただければと思っていますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>本日は本当に長時間にわたりありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>1点お伺いしたいのですが、さざんかについては決定しているとおっしゃいましたが、ぜひ今日の議論を踏まえて、もう一度当事者の意見も聞いてご検討いただきたいと思います。よろしく願いします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>長時間にわたり、どうもありがとうございました。本日これで閉会といたします。本校、今、4時間目の授業をやっております。真面目な生徒たちですので、よろしければぜひ授業をやっている様子も見ながら帰っていただければと思いますので、よろしく願いします。どうもありがとうございました。</p>